



芦安中学校だより

第10号
校長 石原敬彦
2020 2.25

芦安中学校の自然体験活動の取り組みが 芦安ファンクラブとともに

トムソーヤーコンテストで全国2位の「優秀賞」を受賞しました！

NHKの朝ドラ「まんぷく」のモデルにもなった安藤百福(ももふく)さんが設立した「安藤スポーツ・食文化振興財団」が主催する「第18回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」で芦安中学校の自然体験活動の取り組みが芦安ファンクラブとともに全国2位となる「優秀賞」を受賞いたしました。以下がいただいた賞状の全文です。

貴校の自然体験活動企画

「五感で感じる体験・南アルプス鳳凰三山への全校登山 及び

自然環境・森林保護活動等への支援」は郷土の自然や山からの学びを大切に思いやりの心とたくましく生きる力を育み達成感に満ちあふれた活動で

わが国における自然体験活動の模範となる優れたものでありました。

よってここに賞を贈り その栄誉をたたえます。



授賞式でプレゼンテーションをする辻教頭先生

表彰式は、1月25日(土)に横浜の「安藤百福発明記念館」(カップヌードルミュージアム)で行われ、芦安ファンクラブからは、清水会長と事務局の竹本さんが、芦安中学校からは辻教頭先生と登山担当の安田先生、そして校長が参加しました。今回全校登山に関しては直接審査の対象となったのは令和元年度の鳳凰三山への登山ですが、北岳・仙丈ヶ岳・鳳凰三山の郷土の三つの山を順番に登り、今年度で連続して29回目を迎えることも入賞への大きな要因であったと昼食会の席で審査員の皆様から教えていただきました。また、学校林の整備とそこで出た間伐材を使って輪かんじき製作を行うなど、ESD教育としてのさまざまな取り組みが同様に高く評価されたとも伺いました。芦安ファンクラブの皆様・保護者の皆様・地域の皆様そして、芦安中学校にこれまで勤務された諸先輩方に改めて心より感謝を申し上げたいと思います。今回の受賞を励みとして、今後も伝統ある自然体験活動にしっかりと取り組んでいきます。



芦安小中の小中一貫教育校としての取り組みを甲州市議会が視察に来られました。

1月29日(水)、甲州市議会の皆様が、芦安小中学校の取り組みを視察に来られました。甲州市における今後の学校教育の在り方を検討するにあたり、芦安小中を参考にされるとのことです。当日は小中学生合同のイングリッシュゲームを見ていただき、その後小中の校長がそれぞれ、内容を分担してこれまでの取り組みについてのプレゼンテーションを行いました。その後、質疑を受けし、意見交流を行いました。2月10日(月)には小菅村役場より地域おこし協力隊の方を含む4名が来校、芦安小中の自然体験活動と芦安ファンクラブとの連携について交流会を開きました。他地域との連携にもさらに努めていきたいと思っています。



イングリッシュゲーム。こういう時いつも本校中学生は小学生の目線まで下がって活動します。さりげないやさしさが感じられます。



南アルプス市議会・教育委員会から3名・甲州市議会から9名が来校、今後のより良い教育を目指して意見交換・交流を行いました。

1/27(月)入試激励集会、2/12(水)新入生・保護者説明会を行いました。

1月27日(月)、生徒会執行部が中心となり、入試激励集会が開かれました。生徒会長のかすみさんの激励の言葉に続いて1・2年生が3年生一人ひとりにメッセージをおくり、合格を祈る気持ちを含めて1・2年生が手作りした「合格はちまき」が渡されました。最後に3年生が一人ずつ、1・2年生にお礼の言葉を言いました。温かい心が通い合う、手作りのすてきな会だったと思います。2月12日(水)には、新入生・保護者説明会を開きました。1・2年生がスライド写真を使いながら、中学校生活を一人ずつ英語で説明しました。聴き手を意識した声の大きさ、スピードでとてもわかりやすい発表だったと思います。一人ひとり確実に英語力がついてきていることを感じました。それに続く合唱も、しっかりと情感豊かに仕上がっていてすばらしかったと思います。その後、花形先生による理科の授業、最後に部活動を体験してもらいました。新入生の入学が今から待ち遠しいです。



新執行部の4名を中心に1・2年生によって入試激励集会・新入生保護者説明会が開かれました。どちらも手作りの温かい会でした。



新入生・保護者説明会では、1・2年生が英語で中学校生活の説明、その後歓迎の合唱、